

# 目次 Contents

2 下野市消防団通常点検	20 自治基本条例 LESSON6
4 下野市総合計画市民説明会・パブリックコメント	21 新・下野市風土記
5 Shimotsuke-City Topics まちの話題	22 徴収強化月間
6 平成27年度上半期財政状況	23 <b>環境トピックス</b>
8 年末年始のお知らせ	26 <b>生涯学習</b> だより
10 下野市ファミリー・サポート・センター	28 図書館 Library Information
11 ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール	29 読書人
12 国民健康保健人間ドックの助成額が変わります	30 <b>Let's SPORTS</b>
13 自治医科大学附属病院 連携協働コラム	32 しもサタ通信
14 保健だより <b>HealthInformation</b>	34 国民年金だより
18 地域包括支援センターだより	35 暮らしの情報 (イベントカレンダー)
19 理科研究展覧会審査結果	52 国際交流員マシアスのコラム

## 今月の表紙



昨年までは、天平の丘公園ときらら館の2会場で実施していた菊まつりが、今年から、第1回下野市菊花展として新たに天平の丘公園で始まりました。この日は、天平の芋煮会が同会場で開催され、大鍋で煮る3,000食のかんぴょう入り芋煮は完売となりました。

市制10周年を祝う菊文字がステージに花を添えました。

## 今月の何の日

# 12月16日 電話創業の日

1890 (明治23) 年のこの日、東京―横浜間で日本初となる一般向け電話サービスが始まりました。

アメリカの技術者グラハム・ベルが電話機を発明したのは1876年のことでしたが、すでにその翌年に日本は世界に先駆けて電話機を輸入し、わずか十数年で実用化までこぎつけることができました。当時の電話は、交換手による手動での電話交換が必要で、開業当時は女子9名と夜勤要員の男子2名の交換手がいたということです。

また、当初の電話サービス加入者数は東京155回線・横浜42回線で、加入者は官公庁や大企業、個人では大臣クラスの役人や実業家など、ごく一部の人たちでした。1円で米が15kg買えた時代に、電話料金は年額40円という高額なもので、一般家庭にまで電話が普及するのは戦後の話となります。当時の電話帳ともいえる「東京横浜加入者人名表」には、洪沢栄一、岩崎弥太郎、大隈重信、後藤象二郎、前島密といった日本近代化の立役者たちが名を連ねています。

現在では携帯電話やスマートフォンが普及し、一家に一台どころか一人一台電話を持つ時代となりました。当時の人たちが、今の私たちの電話機を見たらどんな顔をするのでしょうか。

